

第三次川越市保健医療計画 施策評価シート（イメージ）

基本目標	3	医療体制の充実	施策担当課	保健医療推進課
主要課題	2	緊急時の医療体制の整備		

施策 1 救急医療体制の整備

施策の指標

指標	単位	基準値	基準時点	目標値	目標時点
1 夜間及び休日における救急医療の実施率	%	100	令和元年度	100	令和7年度
2 救急搬送人員における軽症者の比率	%	50.5	令和元年	48.8	令和7年
3					
4					
5					
6					

施策の状況

年度	施策を取り巻く社会環境の変化
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、県と連携しながら入院調整を図る必要が生じている。 ※令和3年度末時点における市内救急医療機関 12医療機関(10病院、2診療所)※令和2年度末10医療機関(9病院、1診療所)
令和4年度	
令和5年度	
令和6年度	
令和7年度	

細施策での評価を総合的に評価

年度	新規の取組	見直し・廃止した取組
令和3年度		新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は実施できなかった職員の普通救命講習を参加者数を減らし、内容の一部変更を行うなど、感染対策を徹底し、2回開催。
令和4年度		
令和5年度		
令和6年度		
令和7年度		

施策を構成する事務事業

№	所管課名	予算事業名	事務事業名	当初予算額 (千円)	決算額 (千円)
1	① 保健医療推進課	地域医療の推進	休日歯科診療所運営事業	3,121	3,300
2	① 保健医療推進課	地域医療の推進	夜間休日診療事業補助金	26,500	26,500
3	① 保健医療推進課	地域医療の推進	病院群輪番制病院運営事業補助金	31,464	31,044
4	① 保健医療推進課	地域医療の推進	救急医療拠点病院運営事業補助金	20,480	20,480
5	① 保健医療推進課	地域医療の推進	二次救急搬送受入支援事業補助	28,125	24,323
6	① 保健医療推進課	地域医療の推進	外国人未払医療費対策事業補助金	-	-
7	① 保健医療推進課	地域医療の推進	在宅当番医制事業	4,459	4,304
8	② 保健医療推進課	地域医療の推進	AEDの普及啓発	4,596	4,547
9	③ 保健医療推進課	地域医療の推進	救急相談	-	-
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
施策 合計				118,745	114,499

施策の目的

傷病の重症度・緊急度に応じた適切な医療を提供できる救急医療体制を確保します。

実績値				
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
100				
48.9				

『方向性』※必要性等から判断
拡充・維持・縮小
『実施方法』※実施方法を見直すかの視点で判断
継続・見直し

施策の評価

必要性	達成度	方向性	実施方法	方向性・実施方法の考え方
維持	順調	維持	継続	救急医療は必要性が高く、継続して取り組む必要がある。 なお、コロナ禍においては、県と連携しながら、円滑な入院調整を図れるように対応していく必要がある。

《細施策の評価》

細施策		必要性	達成度
①	救急医療体制の整備	維持 引き続き、市の役割とされている初期救急、二次救急の体制を維持する必要がある。	順調 夜間休日診療所、休日歯科診療所などの初期救急体制を維持するとともに、二次救急医療機関への支援等を実施した。
②	病院前救護の推進	維持 引き続き、AEDの公共施設への適正配置と普及啓発に取り組む必要がある。	順調 公共施設に配置しているAEDを適正に管理するとともに、職員への講習を実施した。
③	適正な医療受診の啓発	維持 救急車の適正利用について、啓発する必要がある。	順調 市広報やホームページ等により、救急電話、救急車の適正利用等に係る周知、啓発を行った。
		『必要性』※社会情勢等から判断 『達成度』※指標等から判断	上昇・維持・低下 順調・概ね順調・順調でない

方向性等を踏まえた今後の取組

引き続き、現状の施策に継続して取り組む。
なお、コロナ禍においては、県と連携しながら、円滑な入院調整を図れるように対応していく。

事務事業評価の実施に合わせて反映予定